

2024 年度公益社団法人乙訓青年会議所

組織力強化委員会 基本方針

組織力強化委員会 委員長 田口 亜依

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>委員会<br/>設置背景</p> | <p>近年の乙訓青年会議所においては、会員数の減少に伴う事業規模の縮小により、会員の成長できる機会が減少しているだけでなく、地域に与える影響力も低下しています。このままでは成長や成果を実感することができず、会員の活動意欲が低下する事態を招き、展開する事業の質が悪化し、地域への影響力はさらに低下してしまいます。その結果、組織や活動に魅力を感じない人間が増え、共に活動できる人財まで減少してしまい、さらなる事業規模の縮小という悪循環に陥ります。地域への運動を持続的に展開するためにも、会員数の拡大を事業規模の拡大につなげ、成果と成長を実感できる魅力ある組織を実現させなければなりません。</p>  |
| <p>委員会<br/>設置目的</p> | <p>組織の持続的な成長を、組織の発展へとつなげることを目的とします。</p>   |
| <p>委員会<br/>概要</p>   | <p>1. 5月セレモニー例会</p> <p>会員減少にともない、まちへの影響力低下及び学びの機会が減少している中、まちに良い影響を与え続けるには、組織の持続的な成長が必要であり、新入会員獲得の一助とするために、多くの市民が組織の魅力に触れる機会を創出することで、参加者に組織の魅力を理解していただきます。</p> <p>2. 11月例会・FTセミナー</p> <p>入会歴が浅いメンバーが多く、組織が行う運動の本質が理解されにくい中、組織をより強固にするには、組織の理念や意義への認識が必要であり、会員が青年会議所活動に邁進するために、組織の理念や意義を理解する機会を創出することで、活動意欲の向上へとつなげます。</p> <p>3. 会員拡大推進事業</p> <p>会員減少にともない、まちへの影響力低下及び学びの機会が減少している中、まちに良い影響を与え続けるには、組織の持続的な成長が必要であり、会員拡大を組織の成長につなげるために、1年間の綿密な会員拡大計画を作成し実行することで、新入会員獲得を獲得します。</p> <p>4. 京都ブロック協議会会長公式訪問</p> <p>昨今の社会情勢による活動制限や、入会歴の浅いメンバーが増えたことにより、メンバーの活動意識に差が見られ、成長の機会とされる出向への意欲や認知が低下している現状があります。出向での成長を組織の持続的な発展につなげる必要があり、メンバー一人ひとりの成長へとつなげるために、京都ブロック協議会の理念や一年間の方向、魅力を理解して頂くことで、成長の機会を得られる京都ブロック協議会への出向意欲および、事業への参加意欲向上の一助とします。</p> <p>5. 3LOM 合同交流会</p> <p>青年会議所の価値や青年会議所のスケールメリットを十分に理解が出来ていない中、メンバーが青年会議所活動に邁進するには、青年会議所の魅力を理解していただく必要があり、青年会議所のさらなる魅力を知っていただくために、事業への参加促進を行い、他地域との会員交流を図ることで、同じ志をもった仲間の輪を拡げると共に、組織の連携体制を再認識していただきます。</p> <p>6. LOM ナイト・各種懇親会の設営・運営</p> <p>会員が青年会議所活動に邁進するには、人間関係が良好である必要があり、組織全体の活動を活発化するために、年間を通して、会員同士が親睦を深め、絆をより強固にする機会を創出することで、活動意欲の向上につなげます。</p> |

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <p><b>委員会<br/>活動方針</b></p>  | <p>拡大の成功とはメンバー一人ひとりのつながりだと考えます。<br/> 何をするにも一人では成しえることはできません。一人ひとりの絆が輪を生み、自然と仲間のために行動できると考えます。その輪を広げることが会員拡大へとつながり、拡大を成功させることで、より大きな事業へとつなげることができます。そして、質の高い人間関係を築きあげることで、同じ目標に向かって共に挑戦する魅力ある組織になることができます。<br/> 人とのつながりがあってこそ、助け合いや感謝が生まれ力となる！！</p> |
| <p><b>委員会<br/>スローガン</b></p> | <p>一致団結</p>  |